

豊かな実績・確かな信頼
Manol®

マノール 接着剤

ノロ湿潤型モルタル接着増強剤

モルタル・コンクリート密着型

日本建築仕上材工業会登録

登録番号	0307345
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



株式会社 **マノール**

〈ノロ湿潤型〉モルタル接着増強剤

マノール 接着剤

左官工事のモルタル施工の際、浮き、亀裂、剥落の故障など下地との密着性の点で問題を生じます。

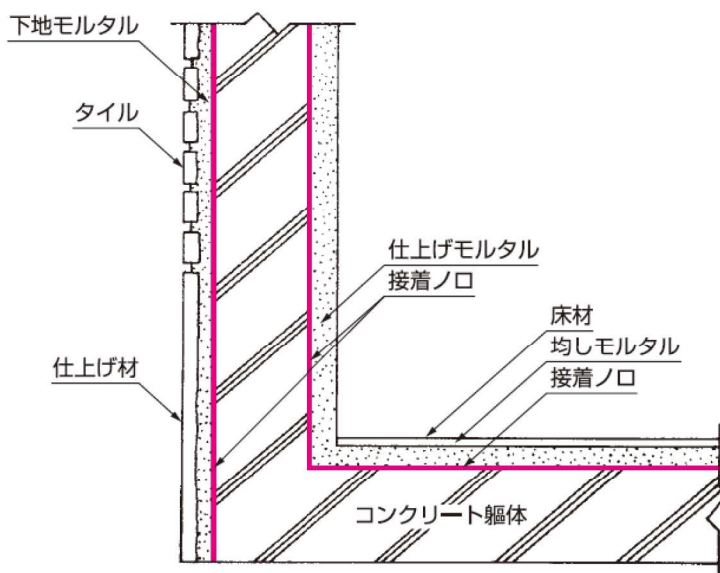
マノール接着剤は密着性はもとより保水性、作業性にすぐれ、あらゆるコンクリート・モルタル下地に使用して天井、床、内外壁のモルタル、タイル、石材等の仕上げを完全に接着させ、収縮、亀裂も予防して左官工事の改善に役立ちます。

特 性

- 特殊合成樹脂を主成分としたノロ湿潤タイプです。
- マノール接着ノロ(ペースト)は、新旧接着面にセメントと同質化した強靱な層を形成して完全に密着させ、耐水性、耐薬品性、安定性にすぐれ、効力は永久的です。
- モルタルの保水性が良く、作業性にすぐれ、乾燥による収縮亀裂を防ぎます。
- コンクリート打継部、タイル圧着下地、人造石、石材の張付けなどに効果的です。

性状・荷姿

主 成 分	外 観	比 重	荷 姿
ポリビニルアルコール	緑色液体	1.01	18kg缶、4kg缶、1.8kg缶





使用法

マノール接着剤は原液のまま(水でうすめない)でセメントペーストを作ります。

標準配合

接着ノロ(ペースト)

セメント：接着剤 = 1 : 0.35~0.5 質量比

- ① 下地の種類、気候、施工箇所の状況に応じて練り具合の配合を決めます。
- ② 接着剤を所要量のセメントの中に少しずつ投入しながら、十分に攪拌して粒のないペーストを作ります。この場合ハンドミキサーを使用すれば便利です。
- ③ 下地のホコリ、レイトンス、油類等は必ず除去し、よく水洗いします。
- ④ 下地水洗いの後、接着ノロ(ペースト)をハケ、ブラシ、コテ、スプレー等で均一に塗付け、接着ノロの水引きを待って(乾かないうちに)追かけモルタルを塗工します。もし接着ノロが乾燥してしまった場合は、再び接着ノロを塗付けます。

18kg缶の施工量

接着ノロ		塗付面積
 18kg	+	 36kg~51kg
		1mm厚 29~34㎡

注意事項

- 接着ノロが乾かないうちに追かけモルタルを塗工します。
- 冬期3℃以下での施工は避け、また常温で保管するようにして下さい。
- 広い面積、ALC等には、当社の塗布型接着剤「マノールポリマー #1000」又は「マノールアクリット」が適しています。

Manol Bonding Agent

試験結果

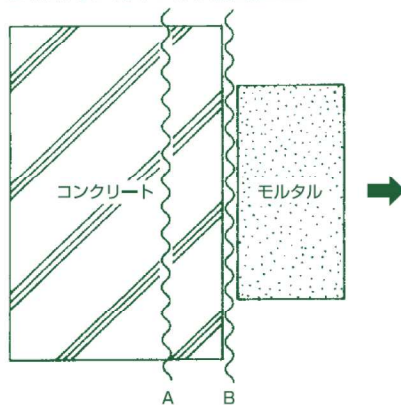
■接着力試験

下地の種類	接着強度 (N/mm ²)			
	無処理	破断面	接着ノ口	破断面
普通コンクリート	0.35	B	1.24	A
軽量コンクリート	0.33	B	1.15	A
ALC	0.21	B	0.53	A
スタイロフォーム	0.12	B	0.44	A

*上塗モルタルの調合比はC : S = 1 : 3

*1N/mm² = 1.01972 × 10kgf/cm²

接着力試験の破断面位置



■PL法に基づく記載

用途	<ul style="list-style-type: none"> ・セメント混和剤 ・セメント関連以外には、絶対使用しないでください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">△注意</div> 取扱上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・飲まないでください。他容器（ジュース・コーラ等の缶・ビン類）に移し変えると誤飲することがあります。 ・目に入ると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護眼鏡を使用する等、目に入らないようにしてください。 ・皮ふに触れると炎症を起こすことがあります。取扱う際は保護手袋（ゴム手袋等）を使用する等皮ふに触れないようにしてください。 ・製品自体は、不燃性ですが水分が蒸発した後の乾燥物は、可燃性となりますので注意してください。 ・子供の手の届かない所に置いてください。 ・使用する際は、標準使用量を厳守してください。
応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。 ・皮ふに付着した場合は、ぬるま湯または水を流しながら洗浄する。 ・飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。
保管方法	<ul style="list-style-type: none"> ・他の容器に小分けして保管しないでください。 ・凍結、直射日光を避け屋内で保管する。保管時の温度は、5℃以下および40℃以上とならないようにする。 ・皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。
廃棄上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。



セメント混和・助材総合メーカー

株式会社 マノール

<http://www.manol.co.jp/>

本社 東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.(03)3927-1331
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字湊原3-2 TEL.(024)591-1131
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.(019)641-1131
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川12-1-26 TEL.(06)6927-3132

特約店

※カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。カタログと製品は予告なしで変更する場合があります。